



1. 新人戦（県大会）が終わりました。

10月19、20、26日に愛知県高等学校新人体育大会に出場しました。結果は

学校対抗戦

1回戦 新川 1-3 安城学園

個人戦ダブルス

稲原・森下ペア	1回戦	対	半田の選手	2-0	勝
	2回戦	対	愛工大名電の選手	0-2	負

『ベスト32』

個人戦シングルス

稲原	1回戦	対	岡崎城西の選手	0-2	負
森下	1回戦	対	同朋の選手	2-0	勝
	2回戦	対	名経大市邨の選手	0-2	負

『ベスト32』



選手全員が高校生活初めての県大会でした。始め地区予選とは違った会場、雰囲気緊張しつつも通りに体が動かずにミスが多かったです。学校対抗戦においては、ダブルスで1勝を上げることが出来ましたが、総合力で力及ばず1回戦敗退でした。個人戦においても、各地区を勝ち上がってきた強豪選手でいままで決まっていたスマッシュもレシーブされたり、相手選手のショットの精度が高く、打ち込まれたりする展開が多かったです。しかし、少しずつ緊張がほぐれいつものようなラリーをすることが出来たときもありました。また、強豪校にも負けにくいぐらいの応援をチーム一同でしていたのが印象的でした。



2. 自己評価と他者評価を行いました。

4月の総体を終えてから新人戦までの自身の部活動についての評価。ダブルスのパートナーの良いところを相手に伝えること。チームの中でがんばっている者の評価をミーティングにて行いました。自己評価においては自身の良い点と改善点を認識することで、今後成長させたいことを明確にすることが目的です。また、他者評価を受けることで自身では認識できていなかった行動や能力を客観的に知る機会になります。今後も継続的に振り返りを行い、成長していけるようにさせたいです。

尾張予選の振り返り

4月からの自分を振り返って100点満点中何点。その理由	
理由	練習では一生懸命メニューをこなせるように頑張っていたかな...と思います。でも練習する101のショット、フットワークなどの技術をどれぐらいゲームや試合に活かせたかといえはまだまだだし、もっと発揮できる部分も多いと思います。
70点	
今回の大会を通じての感想(自由記述) 楽しかったこと、悔しかったことなど	
自分たちの試合では、初めてしっかりとした場面でゲームをできたので良い経験だと思い、楽しかったです。ゲームと同時に緊張も大きく、もったいないな...が「いつもならできるのに」という場面が多かったです。部分部分の小さなミスが自立したので悔しいです。次の本大会があったら更にレベルアップした試合できるように頑張ります。先輩や他のペアのゲームも見られて、楽しかったし得られるものが多かったです。	
これから何を意識して活動していきたい。(技術面・それ以外でも)	
・常にフットワークを意識して練習していきます。(私は、後ろから前への脚の運びが下手で、いつもネット越しにぐるミットの処理ができませんので、そこを改善できるように頑張ります。)	
・101の練習に目的をもて取り組みたいです。(この練習で何を意識するかなど)	
・なんでもプラスな方向にフなげていく。	
ダブルスのパートナー名前	パートナーのいいところ・感謝したところ
1年生	大会の試合直前緊張している自分の緊張をほぐしたり、練習のときからアドバイスしてくれる。
がんばったで賞をあげたい人	その理由
2年生キャプテン	声かけたり、先ず応援をしたり、最初の準備は全部やってくれていた。

3. 12月に冬季尾張選手権・クリスマスカップがありました。

12/8(日)に行われた冬季尾張選手権大会は、3ダブルスで行われる団体戦です。総合力が大事な大会になります。結果は

リーグ3位

新人戦では団体優勝したものの、ダブルス力は他校に比べまだまだ及ばない結果でした。しかし、どのペアも1勝を上げることができ、練習の成果が見られる場面もありました。

12/22(日)に行われたクリスマスカップは、学年別の個人戦ダブルスになります。また、本大会は高校はじめからの選手のみのも大会になります。結果は

1年生

今井・木村 ペア ベスト16
 安藤・修文学院の選手 ペア ベスト16



思うようなラリーができずに悔しがる選手たちもいましたが、自身の課題がわかり総体予選に向けてまた一生懸命がんばろうと思えるいい機会となりました。言われたことをやるだけではうまくなりません。視野を広く主体的に取り組むことが人間力としても技術力を向上させるのにも大事になります。これからも明るく楽しく元気にみんなでがんばっていきたいと思います。応援よろしくお祈いします!!